



POLICE Information

「電話でお金詐欺」にご注意を

電話でお金詐欺とは、架空の料金請求や「銀行口座が悪用されている」などの嘘の内容を電話で話し、その嘘にだまされた被害者から、お金やキャッシュカードをだまし取る犯罪です。

この犯罪は以前「振り込め詐欺等」と呼んでいましたが、被害者の7割以上が自宅の固定電話や携帯電話を介してだまされており、犯人との会話で「お金」の文言が出てくるなど、「電話」「お金」がキーワードになっていることから、電話のなかで「お金」の話になったら、まず詐欺を疑ってもらうように「電話でお金詐欺」と名称を変更して警察で広報啓発活動をおこなっています。

県内の発生状況は、認知件数、被害額ともに増加傾向にあり、高森警察署管内においても続発している状況にあります。

「電話でお金詐欺」の手口は日々悪質・巧妙化していることから、被害から身を守るためには、警察の徹底した取締りと併せて、「皆さんの抵抗力の向上」が必要です。



被害防止ポイント

1 最新の手口を知る

電話会社や通販会社などを装い、未納料金を電子マネーで支払うよう要求する手口や、税務署職員などを名乗り、還付金が受け取れると称し、ATMに誘導しお金を振り込ませる手口など、「電話でお金詐欺」の手口は日々変化しており高森警察署管内でも同様の事例が発生しています。最新の手口を知ることが大切です。

- 電話でお金の話がでた場合は「詐欺かも?」と疑いましょう。
- 熊本県警では、ゆっぴー安心メールやツイッターで、「電話で『お金』詐欺」の発生状況や、被害防止対策などについて情報発信しています。

2 家族への相談

一番身近に相談することができるのは家族ですので、少しでも不審に感じた際は一人で悩むことなく、家族に相談しましょう。

3 在宅時でも留守番電話にする

直接犯人からの電話に対応しないことで、落ち着いた対応ができます。

4 確認する

息子などの親族を名乗る者や警察官・行政職員などの公的機関を名乗った者から電話がかかってきて、お金の話が出たら、事前に把握している息子などの携帯電話番号や、公的機関の代表電話に電話をかけ直して確認してください。

5 お金を振り込んだり、送金したりする時は、必ず誰かに相談する

一旦振り込んだ現金などを取り返すことは困難です。お金の振り込みなどの電話がかかってきた場合、すぐに一人で対応せず、家族や警察などに相談することが大切です。

かんたんサギ対策

- 知らない電話番号には出ない** → 電話に出たら言葉巧みにだまされます。
- 在宅時でも留守番電話に設定** → 犯人は、留守番電話に声を残さない傾向にあります。相手を確認して電話に出ましょう。
- 電話でお金の話はサギ** → 電話でお金の話が出たら「サギかも?」と疑いましょう。
- 電話でお金の話が出たら、まず相談** → 電話でお金の話が出たら、まず家族や警察に相談しましょう。「誰にも言わないで」は犯人の常とう手段。
- 第三者にお金やキャッシュカードを渡さない** → 友人、会社の同僚等を装ってお金やキャッシュカードを受け取りに来る手口が増えていきます。暗証番号は絶対に他人に教えない。

私は大丈夫 と思いませんか? その自信が危ない!